

### 平成9年度第2回常任幹事会

1997年11月7日(金)に東京、九段北の応用物理学会会議室において開催され、「光学」および「OPTICAL REVIEW」の編集状況、「光学」の刷新、Optics Japan '97の結果、冬期講習会進捗状況、光設計研究グループ光設計賞、年度収支計算書(案)について報告が行われるとともに、SPIEとの合同会議、SPIE-OSA-OSJ 合同名簿などについての審議が行われました。

### 平成9年度第4回編集委員会

1997年11月5日(水)に東京、九段北の応用物理学会会議室にて開催され、論文投稿および審査状況の報告、「光学」第27巻第11号までの編集状況および企画について報告と審議が行われるとともに、紙面の刷新(特に文献抄録の刷新と「光の広場」の新設など)についての審議が行われました。

### 第24回冬期講習会

テーマ：光ファイバ通信の基礎と最先端

—チュートリアルコース—

日時：1998年1月22日(木)、23日(金)

場所：東京大学生産技術研究所会議室(六本木)

プログラム：

1月22日(木)

9:00 イントロダクトリトーク

—光ファイバ通信の歩み—

須藤昭一(NTT)

10:30 光通信システム(幹線系)

江村克己(NEC)

13:00 光通信システム(アクセス系/FSAN)

岡田賢治(NTT)

15:00 プラスチック光ファイバと光通信応用

小池康博(慶応大)

16:30 光エレクトロニクスの展開

—光テクノロジーロードマップからながめて—

荒川泰彦(東大)

17:30 懇親会(同所第4会議室)

1月23日(金)

9:00 半導体レーザ(幹線系, アクセス系, インタコネク)

小山二三夫(東工大)

10:30 無機, 有機光導波路

岡本勝就(NTT)

13:00 光インタコネク

高井厚志(日立)

15:00 光実装技術

蔵田和彦(NEC)

16:30 光増幅器(ファイバ, 半導体)の基礎と応用

菊池和朗(東大)

参加費：一般会員15,000円, 一般非会員23,000円,

学生会員無料, 学生非会員4,000円

問合せ, 申込先：(E-mailでお申込みください)

日立製作所中央研究所オプトエレクトロニクス研究部

立野公男(実行委員長)

電話 0423-23-1111(内線3006)

Fax 0423-27-7673

E-mail: tatsuno@crl.hitachi.co.jp

詳細は光学第26巻第12号巻末の綴じ込み案内をご覧ください。

### 第23回光学シンポジウム

1998年6月25日(木)・26日(金)に東京・六本木の東京大学生産技術研究所において開催されます。今回のテーマは「光学系および光学素子の設計, 製作, 評価を中心にして」です。詳細は本号60頁の案内をご覧ください。

### 光設計研究グループ

●光設計研究グループ第15回研究会

テーマ：「偏光の基礎と光設計への応用」

日時：1998年2月13日(金) 9:30~17:20

場所：東京大学生産技術研究所 第一会議室

東京都港区六本木 7-22-1 (営団地下鉄千代田線乃木坂駅下車徒歩3分, 営団地下鉄日比谷線六本木駅下車徒歩10分)

プログラム：

9:40 偏光の基礎

横田英嗣(東海大)

10:40 ゼーマンレーザによる複屈折計測

梅田倫弘(東京農工大)

13:00 結晶における光線追跡

早水良定(早水光学設計)

13:40 CODE-VRにおける偏光の扱い

異儀田幸成 (サイバネットシステム)

14:20 光ディスク光学系と偏光

片山龍一 (NEC)

15:20 光ファイバー通信における偏波依存伝達特性

原田一成, 小関 健 (上智大)

16:00 構造的複屈折とその応用

菊田久雄 (大阪府立大)

16:40 液晶のレンズへの応用

佐藤 進 (秋田大)

研究会終了後に懇親会を予定しております。

参加費: 研究グループ会員 4,000 円, 一般 10,000 円, 学生会員無料, 学生一般 2,000 円, 懇親会 2,000 円, 研究グループへの当日入会も可能です (年会費 2,000 円)。ただし, 入会資格は日本光学会個人会員に限ります (年会費 9,600 円)。

参加申込み: 電子メール, Fax, あるいは郵送にて下記宛にお送りください。なお, 定員オーバー後の申し込みの場合にはその旨連絡申し上げます。定員に余裕のある場合には当日会場でも受け付けます。

申込先: 旭光学工業(株)光学研究部 丸山晃一

〒174 東京都板橋区前野町 2-36-9

電話 03-3960-4664 Fax 03-5392-2013

E-mail: k.maruyama@aoc.pentax.co.jp

問合せ先: 富士写真フイルム(株)宮台技術開発センター

R2 宮川一郎

〒258 神奈川県足柄上郡開成町宮台 798 番地

電話 0465-85-2024 Fax 0465-85-2031

E-mail: miyagawa@miya.fujifilm.co.jp

### 日本光学会共催・協賛の講演会

#### ● 3次元画像コンファレンス '98

期 日: 1998年7月1日(水), 2日(木)

場 所: 工学院大学新宿校舎大講堂

主 催: 3次元画像コンファレンス '98実行委員会 (担当: 画像電子学会/日本光学会ホログラフィックディスプレイ研究会協賛)

参加費: 協賛学会・研究会会員 10,000 円, 非会員 13,000 円, 学生 5,000 円

募集論文の性格: 論文として未発表のものに限ります。ただし, 口頭や研究速報として発表したものは差しつかえありません。

募集論文の内容: 3次元画像に関する諸技術・応用: ① 3次元画像入力・表示等に関する画像エレクトロニクス技術, ② 視覚・認識・理解・創成・符号化・映像表示

等に関する画像情報処理技術, ③ 放送・通信・医療・産業・教育などの分野への応用と結果 (応用については, 技術的な内容である必要はありません)。

講演申込: 題目・著者名・図表などを含めて A4横書1枚程度の内容概要と, 必要事項を記入した講演申込書(コピー可)を下記送付先まで郵便または Fax にてお送りください。なお, 電子的な申込方法については下記の URL (ホームページ) において紹介しておりますので, そちらをご覧ください。

講演申込締切: 1998年2月28日(土) 必着

論文集原稿: 採択論文については, 1998年4月30日までにカメラレディ原稿とフロッピーによる原稿を提出していただきます。

優秀論文の表彰: 発表論文の中から優秀な論文について論文賞を贈呈します。

送付先 (問合せ先): (株)精機通信社気付「3次元画像コンファレンス '98実行委員会」

電話 03-3367-0571 Fax 03-3368-1519

<http://www.ecs.cst.nihon-u.ac.jp/3dconf/>

### 光学関連会合

#### ● Signal Recovery and Synthesis VI Topical Meeting and Exhibit

期 日: 1998年6月9日~11日

場 所: Kona Surf, Hawaii (米国)

主 催: OSA-Optical Society of America (米国光学会)

主 旨: 近年, 逆問題や超解像の研究が, 自然科学や産業の多くの分野において, 活発化してきている。光学の分野においては歴史的に早くから天文, 顕微鏡, 医療光学などの関連においてこれらの問題は先進的に取り組まれてきた。OSA は, これまで3年ごとに Topical Meeting on Signal Recovery and Synthesis と題して, 5回にわたって国際会議を開催してきた。今回, 1998年6月9日~11日にハワイにおいて, 下記テーマを中心に開催される予定である。日本からの多数の参加を歓迎する。

トピックス: 逆問題解決法, 散乱場からの像形成, 画像強調・修正, 位相回復問題, 回折光学素子の設計, 医用画像処理, トモグラフィー, 超解像, 天文光学, 他関連テーマ。

招待講演:

- Signal recovery in near field optical microscopy  
Satoshi Kawata
- Inverse scattering and imaging

Ivan Lahaie

- Techniques for signal synthesis in microlithography  
Bahaa A. Saleh
- Photonic band gap structures  
Eli Yablonovitch

問合せ先：

(国内) 大阪大学工学研究科応用物理学専攻 河田 聡  
(OSA トピカルミーティング組織委員)  
電話 06-879-7845 Fax 06-879-7876  
E-mail: kawata@ap.eng.osaka-u.ac.jp

(米国) OSA Conference Services  
Fax +1-202-416-6100  
E-mail: confserv@osa.org  
<http://www.osa.org/>

## 正 誤 表

「光学」第26巻第11号の研究論文「光散乱媒質を透過した物体の光波コヒーレンス映像法」(市村 勉ほか著)のFig. 6 キャプション中に誤記がありました。下記のように訂正いたします。

606 ページ 右段 Fig. 6 の下

(正) (b) Reconstructed image obtained by accumulating 10 differential images of this method.

(誤) (b) The image of test target with randomly scattering media. (c) Reconstructed image obtained by accumulating 10 differential images of this method.

### 会員拡大キャンペーンへの協力をお願い

日本光学会は、Optics Japan の開催、新しい国際学術誌「OPTICAL REVIEW」の刊行など、近年ますます活発な事業活動を行っております。光関連分野がさらに拡大しつつある現在、日本光学会の一層の発展を目指して、会員拡大キャンペーンを実施中です。皆様のお近くで、光関連分野で仕事をされている研究者、技術者、そして学生の方々に、日本光学会への入会を、是非おすすめくださいますようお願いいたします。入会のしおり(申込み用紙付)は下記へ請求してください。

申込み先：社団法人 応用物理学会分科会 日本光学会

〒102 東京都千代田区九段北 1-12-3 九段北ビル5階

電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245

E-mail: jsapdiv@mb.infoweb.or.jp